



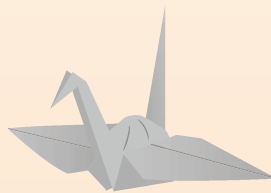
戦争を知らない世代へのメッセージ

写真：広島県産業奨励館（原爆ドーム）
（撮影：林 寿磨／提供：広島原爆被災撮影者の会）

平成28年 茨木市非核平和展

入場
無料

7月26日火
→ 7月31日日



茨木市立中央図書館（茨木市畑田町1-51）

▶ 9:30～20:00（※土・日は17:00まで）

1F エントランスホール

- 未来へつなげようーヒロシマを忘れないー地球儀プロジェクションマッピング
- サダコと折り鶴 ポスター
- リトルボーイ模型（1/2スケール）

1・2F ● 平和を考えるクイズラリー

2F ギャラリー / 多目的室

- 立命館大学国際平和ミュージアム企画
- 原爆被害者の会「非核平和語り」7月31日日
- 「原爆と人間」展 ● 平和アニメ上映
- 平和のメッセージ

開催期間中、中央図書館にて『関連図書・ビデオ特設コーナー』を設けています。

茨木市役所本館 1F ロビー

本館は ▶ 8:45～17:15まで
（土曜日閉庁・日曜日は正午まで）

- 戦時下のいばらきパネル展
私たちのまち、茨木市が戦争によって受けた被害をパネルで紹介します。

主催



茨木市

協力

立命館大学国際平和ミュージアム
茨木市原爆被害者の会

問合せ先

人権・男女共生課

TEL 072-622-6613（直通）

展示内容のご案内

71年前の終戦を迎えるまで、日本は外国と戦争をしていました。日本の経験した決して風化させてはならない事実です。戦争体験者の高齢化が進むいま、改めて忘れてはならない戦争の記憶を振り返ることで、“戦争の悲惨さ”“平和の尊さ”について、そして、『真の平和』を築くために私たち一人ひとりに何ができるのかを考えます。

茨木市立中央図書館

1F エントランスホール

●未来へつなげようーヒロシマを忘れないー 地球儀プロジェクションマッピング

戦後71年目である本年、5月27日現職のアメリカ大統領が初めて被爆被災地の広島を訪問しました。「核兵器のない世界」へ向けた歴史的な第一歩であることを再確認するため、広島の過去から現在をプロジェクションマッピングの映像で紹介します。



米軍機より撮影したときのご雲（撮影：米軍／提供：広島平和記念資料館）

2F ギャラリー

●立命館大学国際平和ミュージアム企画 平和を求めて広がる非核都市宣言



ポスター「NO MORE HIROSHIMAS」1985年
立命館大学国際平和ミュージアム所蔵

1984年に茨木市議会が「非核平和都市宣言」を議決し、今年で32年を迎えました。非核都市宣言は、核廃絶運動が世界的に高まった1980年代に日本でも大きく広がり、2016年現在、日本の自治体の約90%が非核都市宣言を表明しています*。

本企画では、日本に広がる非核都市宣言について立命館大学国際平和ミュージアム所蔵の資料を通して紹介します。

*2016年6月現在、日本非核宣言自治体協議会

2F 多目的室

●原爆被害者の会「非核平和語り」

7月31日(日) 10:30~11:30
13:00~14:00

「茨木市原爆被害者の会」の語り部による非核平和語りを開催します。実際に体験された方の語りにより、戦争の悲惨さをより身近なものとして伝えます。

●平和アニメ上映

非核平和に関するアニメ映画を、非核平和展開催期間中に上映します。

上映作品 「おこりじぞう」「つるにのってーとも子の冒険ー」
※各日数回ずつ上映 「100ばんめのサル」「しんちゃんの三輪車」

●平和のメッセージ

当日会場に、皆さんの“平和を願う”気持ちを書いていただくコーナーを設けます。ご自由に、「絵画」や「メッセージ」をお寄せください。

1・2F ●平和を考えるクイズラリー

受付で回答用紙をお渡しします。クイズポイントは4か所。
全問解答者には、参加記念品を差しあげます。

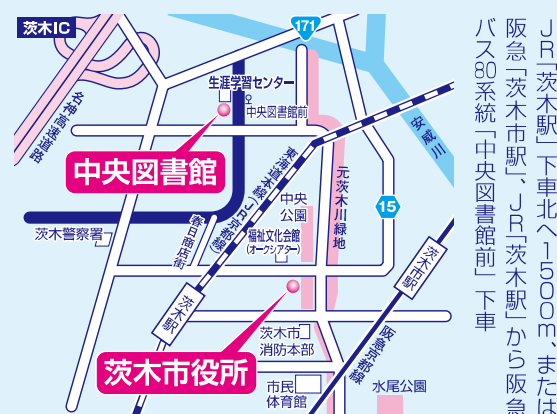
●「原爆と人間」展

1945(昭和20)年8月6日、原子爆弾が史上初めて広島に投下されました。その3日後には長崎に。街は一瞬のうちに焦土と化し、多くの人々がその犠牲となりました。当時の悲惨な状況をパネルで紹介します。



〈資料提供〉茨木市原爆被害者の会

会場へのご案内



※ご来場の際は徒歩、自転車、公共交通機関をご利用ください。

茨木市役所本館 1F ロビー

●戦時下のいばらき

私たちのまち・茨木市も、戦争による被害を受けました。戦時下のいばらきの様子や空襲の被害状況、市民の体験談などをパネルで紹介します。